

第 198 回
定例探鳥会

日時：2003年 6月 8日 (日) 天候：晴れ
コース：高来神社 高麗山 浅間山

今朝はいい天気になり朝から気持ちがいい。境内ではハシボソガラスの幼鳥が鳴き、親鳥から餌をもらっていました。そして上空には早々とアオバト12羽が飛び盛り上がります。

山を登ると途中でアオバトの鳴き声も聞かれ、いよいよ夏がやってきたことを実感します。林の中ではヤマガラの子鳥がよく観察され、たびたび幼鳥の群れを見ることが出来ました。同じ種では時期的にほとんど同じなのでしょうか？。

いつものアオバズクポイントではアオバズクは見られませんでした。東側の谷でオオルリが長いこと盛んに鳴くのが聞かれましたが、とうとう姿を見ることができませんでした。残念。かなり近かったんですがね。キビタキの声も確認しました。

大堂上空ではイワツバメとツバメが飛び回り、その中にツバメの幼鳥も混じっていてイワツバメの姿と紛らわしい。ツバメも幼鳥の時は尾羽が短くイワツバメの尾羽に似ているので注意が必要です。空中でツバメの親が幼鳥に餌をやっている姿を観察、なかなかやるな！！。

今日はメジロ、ウグイスの鳴き声なども聞かれ、山はにぎやかな日でした。気温も時間がたつにつれ上がり、ひなたでは蒸し暑いのですが、木陰に入ると逆にサラッとした乾燥した空気になり気持ちよくなるという日でした。

参加者

参加人数 34 名 (敬称略)

- | | | | | |
|-------------|-------------|-------------|------------|-------------|
| 1. 下倉 紘一 | 2. 鈴木 逸子. | 3. 八木 正 | 4. 古賀 勝秋 | 5. 吉田 宣子 |
| 6. 山田 文則 | 7. 武田 悦子 | 8. 大谷 秋代 | 9. 石原 遼 | 10. 国友 昭男 |
| 11. 大坂 英樹 | 12. 宗像 哲夫 | 13. 別所 三郎 | 14. 森田 義雄 | 15. 吉田 敬一 |
| 16. 本間 智子 | 17. 加藤 卓也 | 18. 伊藤 武夫 | 19. 松下 弓子 | 20. 南 那津子 |
| 21. 貞松 嘉子 | 22. 紺 龍彦 | 23. 山下 勝司 | 24. 木田 ハマ | 25. 清水 哲子 |
| 26. 小野 肇 | 27. 佐藤 忠史 | 28. 片倉 義人 | 29. (田端 裕) | 30. (西ヶ谷修一) |
| 31. (岩佐 昌夫) | 32. (内山規矩雄) | 33. (金子 典芳) | 34. (斎藤常實) | |

見聞きした鳥

種類数 24 種 (ドバトを含む)

- | | | | | |
|------------|----------|-------------|-------------|-----------|
| 1. トビ | 2. コジュケイ | 3. キジバト | 4. アオバト | 5. ドバト |
| 6. ヒメアマツバメ | 7. カワセミ | 8. アオゲラ | 9. コゲラ | 10. ツバメ |
| 11. イワツバメ | 12. ヒヨドリ | 13. ウグイス | 14. キビタキ | 15. オオルリ |
| 16. エナガ | 17. ヤマガラ | 18. シジュウカラ | 19. メジロ | 20. カワラヒワ |
| 21. スズメ | 22. ムクドリ | 23. ハシボソガラス | 24. ハシブトガラス | |

『謎に包まれていたアオバトの繁殖や冬の行動が、
いま、ここにベールを脱ぐ!』... 今年のBINOSは見逃せない!

日本野鳥の会神奈川支部の会員の方はご存じだと思いますが、神奈川支部では「バイノス BINOS」という研究年報を刊行しています。会員が観察したことを根気よく記録し、こまめに報告にまとめる。その努力を通じて神奈川県鳥類相とその生態についての情報を蓄積していく...というのがBINOSの目指す方向です。1994年から毎年1冊ずつ刊行され、2002年にはVol.9(第9号)が発行されました。

こまたんメンバーの研究論文もいくつか掲載されています。

- ・ アオバトの糞から検出された植物種子(こまたん) Vol.3
- ・ 平塚市上平塚におけるムクドリのおぐら調査(山田文則) Vol.7
- ・ 平塚市吉沢周辺の丘陵地における秋季の鳥類相と個体数変化(こまたん) Vol.8

今年のVol.10には、こまたんからのアオバトに関する論文が2編掲載されます。

2002年春の丹沢で実施されたアオバトの繁殖調査の記録、今年の冬の大磯・虫窪地区におけるアオバトの冬季の観察の記録により、謎に包まれていたアオバトの繁殖や冬の行動が解き明かされます。世界初の繁殖記録の詳細な発表で大きな反響が予想されます。

現在、関係者は原稿作成に追われていますが、その過程では観察記録を読み返したり、掲載する写真を選んだり、グラフや図版を作ったり、あるいは議論があったりと、大変な中にも楽しみを見つけ出しています。

発行は秋以降になりますが、定例探鳥会の参加者の皆様にも一読をお薦めします。

値段は1冊 ¥1,000~1,200程度になりそうです。購入に関するご希望、お問い合わせ先は次のとおりです。

〒221-0044 横浜市神奈川区東神奈川 1-1-4 第3ケイヒンビル4階

日本野鳥の会神奈川支部

電話: 045-453-3301 ファックス: 045-453-4301

郵便振替: 00290-8-14993(日本野鳥の会神奈川支部)

通信欄に希望の書名、冊数をお書きください。

また、BINOSの報告会が10月に横浜で予定されています。この発表会で丹沢で撮影したビデオの初公開を計画しています。写真とビデオと語りで、アオバトの繁殖、丹沢の素晴らしさ、そしてこまたんメンバーの調査での生き生きした姿を、ちょっとおふざけも交えながら紹介したいと思っています。「プロジェクトX・こまたん編」をお楽しみに・・・。

「BINOS」の発行、「報告会」の日程など詳細が決まりましたらこの紙面でお伝えしていきます。BINOSの購入などについて問い合わせ、質問がありましたら定例探鳥会の幹事までご相談ください。冊数が多くなればまとめてお取り寄せも可能かもしれません・・・。

10月には定例探鳥会200回記念の展示会が平塚市民プラザで開催されます。

この会場でもアオバトに関する展示を企画しています。こちらにも大勢の方のご来場をお待ちしています。詳しいことは次号以降の会報でお知らせします。

7月最終日曜日は「アオバトの日」

こまたんでは7月の最終日曜日を「アオバトの日」に勝手に制定しました。大磯照ヶ崎海岸へのアオバトの飛来の最盛期を迎え、アオバトの観察に訪れる方が非常に多くなります。また、平塚や大磯のいろいろな会から観察会を依頼されることも多くあります。そこで、7月の最終日曜日には早朝からこまたんメンバーが照ヶ崎の海岸に望遠鏡をすえつけて待機し、皆さんの質問に答えたり、美しい姿を望遠鏡で見ってもらうことにしました。午前5時頃から9時頃までは常に誰かが待機していますので、都合のよい時間にお出かけください。また、望遠鏡をお持ちの方の御協力をお願いします。

なるほど・ザ・野鳥 (No.11)

野鳥たちの不思議な行動や生態のおもしろい話をインターネットなどから集めています。それらの中から一つか二つずつを紙面に余裕があるときにこのコーナーで紹介していきます。

(13) 眠っているのに……なぜ木から落ちないの？ - 木にとまって眠る

鳥の脚の内部は上部にある多量の筋肉と足指の先端まで伸びた腱で構成されています。

鳥が地面に立っているときは、この筋肉と腱は伸びた状態になっています。しかし鳥が木にとまるために上体を低くすると、足の筋肉とつながっている腱の働きで指が足首の方に自動的に引っばられ、そのために足指は自然に内側に曲げられます。すると鳥の足指はしっかりと止まり木をつかむので足をまっすぐ伸ばさないかぎり木から落ちるといったことはないのです。ですから鳥が激しく揺れている木の枝に振り落とされもせずとまっていたり、眠っていても下に落ちないのはこういった理由からなのです。



【お知らせ】

第47回 市民探鳥会 - アオバト観察会 -

今年も多くのアオバトが大磯の照ヶ崎海岸に飛んできています。岩場の窪みの海水を飲んだり、尾や脚を海水に浸けるという行動が見られます。恒例のアオバト観察会を下記の要領で照ヶ崎海岸で行います。夏の早朝、気持ちのいい海岸で美しいアオバトを観察しませんか？

開催日：7月27日(日) 雨天中止

場所：大磯町・照ヶ崎海岸(大磯港の西側、プール脇の防波堤の外側)

時間：午前5時頃から9時頃まで

時間内はこまたんメンバーが望遠鏡を設置して照ヶ崎海岸に待機しています。都合のよい時間に自由にきてください。

照ヶ崎・アオバト探鳥会

7月21日(月・海の日) 8時頃から 日本野鳥の会・東京支部

7月26日(土) 9時から 大磯生涯学習館

望遠鏡をお持ちの方の応援をお願いします。

連絡先：岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

鳥報

アオバト情報

照ヶ崎へのアオバトの飛来は順調です。100羽を越す大群の飛来も見られます。

6/15 (曇り時々雨) 5:50~9:50 飛来数合計 69羽 瞬間最大 19羽

6/22 (曇りのち晴) 5:40~8:36 飛来数合計 1,404羽 瞬間最大 90羽

6/29 (曇りのち晴) 5:45~9:50 飛来数合計 1,075羽 瞬間最大 115羽

6月22日にはアオバトの群れにハヤブサが突っ込むという光景が見られました。小野さんの記録からそのときの様子を紹介します。

8時過ぎ頃からハヤブサが3回出現しました。3回目の8:38に、29羽のアオバトの群れにハヤブサが突っ込みました。最初の一撃は失敗。反転して、逃げ遅れた1羽を捕らえ、海上をゆうゆうと飛んでいましたが、西側のテトラポットのところで落としてしまいました。なんとつめ(詰め?それとも爪?)の甘いハヤブサでしょう。

こまたんメンバーのフィールドノートから

ウミスズメ sp ... 6/29 照ヶ崎、1羽、沖合い300mを西から東へ海面すれすれを移動

イカル ... 6/10 鷹取山、1羽、澄み渡るよい声でさえずっていた。6/17にも確認1羽

ホトギス ... 6/10、6/17、6/26 吉沢・鷹取山、1羽、鳴きながら飛び回っていた

キビタキ ... 6/10(2羽) 6/17(1羽) 吉沢・鷹取山

サンコウチョウ ... 6/10、6/26 吉沢・鷹取山、1羽

クロツグミ ... 6/26 鷹取山、1羽、尾根道を歩いていると、道路脇の横枝に がとまっていた

エナガ ... 6/26 吉沢・鷹取山、幼鳥12羽

ヤマガラ ... 6/26 吉沢・鷹取山、幼鳥2羽

シジュウカラ ... 6/26 吉沢・鷹取山、幼鳥3羽

スズメ ... 6/26 吉沢・鷹取山、幼鳥30+羽

アオバズク ... 6/20 平塚市吉沢にお住まいの方からアオバズク誕生の報告が届いた

【お知らせ】

定例カウント調査

吉沢・松岩寺 & 土屋・遠藤原 2003年8月2日(土)

生沢・鷹取山 2003年8月9日(土)

午前6時に高麗ハイツ隣の駐車場に集合。12時頃に集合場所に戻ります。雨天中止。

特に持ち物は必要ありませんが、飲み物とタオルはお忘れなく。

集合時間が夏時間で1時間早くなっていますので、参加される方は御注意ください。

連絡先: 岩佐 昌夫 0463-55-6142 内山 規矩雄 0463-33-4322 金子 典芳 0463-32-5583

次回の定例探鳥会は2003年8月10日(日)です。午前7時30分 高来神社に集合。

緑鳩(アオバト) 第197号 / 7月号 発行所:こまたん

斎藤 常實 0467-51-3543

岩佐 昌夫 0463-55-6142